

# 未来の富田林をあなたと描く市民会議 "Mira-ton 2017"

"Mira-ton2017" レポート

第 1 号



## 開催概要

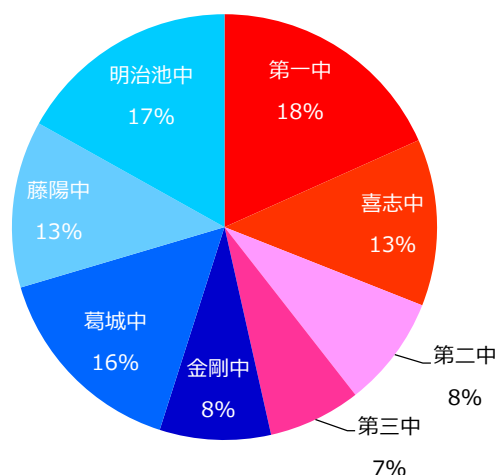
日 時：2017年9月10日（日）  
14:00～16:30  
会 場：富田林市消防署4階 講堂  
参加者数：58名

2017年もスタートした未来の富田林をあなたと描く市民会議"Mira-ton 2017"。今回は基調講演として近畿大学久教授から「みんなでつくろう富田林の未来」というタイトルで講演をいただいたあと、「地域の課題を見つけよう」というテーマのもと、ワールドカフェという手法で、住んでいる地域の課題を出し合いました。全体で上がった課題はなんと300個！あっという間の2時間半でした。

## プログラム

1. オリエンテーション
2. 久教授からの講演  
「みんなでつくろう富田林の未来」
3. アイスブレイク
4. ワークショップ  
「地域の課題を見つけよう」
5. おわりに

## 参加者の皆さんの属性【お住まい（中学校区）】



## 講演「みんなでつくろう富田林の未来」

近畿大学総合社会学部教授の久教授に、“Mira-ton 2017”を実施するにあたり、講演をしていただきました。

- 人口減少社会という新しい時代への転換期に来ている中で、**社会の動かし方が変わり始めています。**
- SNSによるコミュニケーションの変化、ボランティア活動、リノベーションまちづくりが盛んになったり、若い世代が社会起業家になりビジネスとして社会課題に取り組むようになりました。
- これからは行政の力（規制）によるコントロールではなく、**近隣社会によるコミュニティの力（協働）が一層重要になってきます。**キーワードは「**創造**」です。
- 泉大津市で一人の市民がはじめた「ホンノワまちライブラリー」（事例紹介①）という小さな図書館の取組や、尼崎の市民が3年前からスタートさせた「みんなのサマーセミナー」（事例紹介②）など、**元気な人が楽しい活動を行うことで、活動が広がり、繋がり、まちが元気になっていきます。**地域のことを地域の人と一緒に解決していこうという取組をぜひ、皆さんもはじめてみてはいかがでしょうか。



▲近畿大学 久教授

### 【事例紹介①：まちライブラリー】

自宅の一室や、オフィス、カフェ、病院の待合室、お寺や山小屋など、いろいろな場所に**皆で本を持ち寄って**、本棚を囲んでお茶会をしたり、本の感想を書いたりすることで、地域の人たちとの交流を深めていく「**私設図書室**」としての試み。

全国に**大小 500 近いライブラリー**がありますが、府内ではもりのみやキューズモールや、大阪府立大学、立命館大学大阪いばらきキャンパスなどに、大きなライブラリーがあります。是非行って見て下さい。



### 【事例紹介②：尼崎みんなのサマーセミナー】

2日間だけ尼崎市内の学校を借りきって、まちの人が**センセイ**になり、生徒にもなる、学校ごっこを楽しむイベント。

3年目となる2017年は、市民が先生となる講座が**350 講座**、延べ**5,300 人**を越える方の来場がありました。パンフレット印刷等に必要な資金の調達には市民を中心とする実行委員会が、**クラウドファンディング**や**チャリティーショップ**などを通じて集めています。



# ワークショップ「地域の課題を見つけよう」

## 進め方

.....

今回のワークショップでは「ワールドカフェ」という手法を使って、地域やテーマごとにいろいろな人の意見を聞き、地図を使って、どこにどんな課題があるかまとめてみました。



簡単な自己紹介を書いた紙を持っていろいろな人と短く話します。



同じテーブルのメンバーと、地域の課題について話します。



ファシリテーター以外がテーブル移動後、別の人と別テーマで話します。



②と同じように、また別のテーマ、別の人と話します。話の内容は地図上に！！

## ワークで出た意見の一例

テーマ【未来への希望を育む子育て・教育】  
通学路が狭い上に車の通行が多い

テーマ【未来への希望を育む子育て・教育】  
通学時、子どもが多くて危ない

テーマ【安全・安心で美しく快適なまちづくり】  
近くに交番がない

テーマ【安全・安心で美しく快適なまちづくり】  
道がこむ。渋滞。(狭富線)

テーマ【未来への希望を育む子育て・教育】  
公園はあるがボール遊びが禁止されている。危ないのはわかるが(伏山)

テーマ【魅力あふれるまちのにぎわいづくり】  
石川ごみ掃除。余り知られていない

テーマ【魅力あふれるまちのにぎわいづくり】  
大阪大谷大学の周りが静か(もう少しお店があれば受験者が増えそう。)

テーマ【みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり】  
東条地区、彼方地区との交流(農業体験)

テーマ【魅力あふれるまちのにぎわいづくり】  
市民大運動会！なくなったのさみしいなあ～

## 話し合いの結果（一部抜粋）

ワールドカフェで抽出された課題は全部で300以上！その一部を、テーマごと、エリア（※）ごと、内容ごとにまとめました。

（※）圏域（中学校区）ごとにまとめています。

第1圏域：喜志・第一

第2圏域：第二・第三

第3圏域：金剛・葛城・藤陽・明治池

### 【未来への希望を育む子育て・教育】

#### ●第1&2圏域（グループ1）



若い人や子どもと地域との交流や声掛けが少なくなっているという声が多く出ました。そのような状況を反映して、「子どもと大人が関わるができるような場」「お母さんが集まる場」などが必要だという声もありました。

#### ●第3圏域（グループ6）



金剛団地でも子どもが少なくなっているという危惧が共有されました。特色ある教育や、教育のレベルアップ、子供たちがボールで遊べる場所、安全に遊べる場所、図書館の充実なども挙げられ、子どもが打ちやすい環境整備が課題となっています。

#### ヒト

- ・子どもがあいさつできない
- ・小中学生、若い人と交流なし
- ・園庭開放に来る人が少ない。いない。
- ・親の子育てに関する知識が少ない。子育て講座とかしてる？
- ・はよかえりー、との声かけ
- ・通学時、子どもが多くて危ない
- ・子どもが入院して親が付き添う時、その兄弟の面倒をみる人がいない
- ・子ども会のお母ちゃんお父ちゃんががんばって！
- ・出生率が下がっているのに待機児童が減らない（保育園まで）

#### コト

- ・子どもたちに声かけできるような空気感が時代とともになくなってきた
- ・金剛地区と富田林地区の教育に格差？  
「富田林の子育てはイイよ!!」って声を全く聞いたことがない（大阪狭山市はよく聞くが…）
- ・ラジオ体操、みんなではしては？？（昔はやってたのに最近は聞かない。子どもがやりたがらないのだろう）

#### モノ

- ・通学路が狭い上に車の通行が多い

#### 場所

- ・図書館が遠い!!

#### ヒト

- ・放課後子ども教室。子どもが少ない。（統合？働きかけができないか？集まる学校に）
- ・主人が見守り隊しているが、子供達があいさつをしない（須賀）
- ・子どもと接する機会がない→声をかけづらい…怖い、危ない
- ・教育水準、待機児童、+αの施策、保育料
- ・中学の教育レベルUP不足
- ・地域単位で子どもと大人が関わるきっかけづくり

#### コト

- ・若い世代が住み続けたいと思うような魅力などをアピールできるものがあれば（援助、金銭的などの）
- ・若年世代を呼び込む施策が少ない。
- ・地域の行事がない
- ・五軒家では、だんじりや地藏盆など地域の行事があり、世代を超えて交流があるが、他の地域はそういった行事がない。

#### モノ

- ・子どもが遊ぶ所が少ない
- ・公園はあるがボール遊びが禁止されている。あぶないのはわかるが（伏山）
- ・子どもたちが安全に遊べる場所
- ・図書館の充実
- ・自由な学校選択があればいいな…（例：2つの中から選べればいいな…）

## 【みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり】

### ●第1&2 圏域（グループ2）



近隣の方々との繋がりを感  
じられている方が少ないよう  
で、もっと仲良くなりたい、  
もう少し知り合いたいという  
意見がありました。

皆で支える自治会等の地域活動を継続してい  
くためにも、地域でのネットワークづくりの  
必要性が挙げられています。

### ●第3 圏域（グループ7）



全グループの中で最もたく  
さん意見が出ました（ありが  
とうございます）！高齢者や  
障がい者への対応が中心的な  
課題として認識されており、

体育館や道路の老朽化、交通や空き家問題な  
ど、あらゆるテーマの課題について話しあわ  
れていたようです。

### ヒト

- ・東条地区、彼方地区との交流（農業体験）
- ・中小企業団地で働く外国人との交流
- ・御主人の帰りが遅くて、子育て中のママが、ものすごい声で叱っている。助けてあげたい！でも、おせっかいかも。
- ・共働き世帯が多く、小学生の子ども達（低学年、中学年）が学童のあとさまよっている。心配!!
- ・隣近所をもう少し知り合えたら！
- ・町会の役員になり手がいない
- ・近所の方を知っているようで知らない。町内での一斉のそうじなどはあるが、みんなが参加したりしないので。

### コト

- ・富田林身体障害者協会の高齢化（8割が65歳以上）
- ・住んでる所の自治会がどこにあるかわからない。
- ・地域（自治会）などの取組が何をしているのか分からない!!いきいきサロン、子育てサロン他
- ・ごみのルールが守られない

### モノ

- ・公共交通機関、バスの減少、移動…。レインボースタップって？どこ通ってんの？

### 場所

- ・河川敷公園の活用
- ・寺内町について皆（市民）が知らない
- ・高齢者が清水町の坂を上がるのが大変

### ヒト

- ・高齢者と子育て世代の助け合い
- ・老人が多いと感じられる（寺池台3丁目）
- ・障害児の差別をしない。障害の理解をしてほしい（川西プール）
- ・ボランティアの活用。ボランティア組織を作る。
- ・保育園に預けていても病気だと休まなければいけない。その時に登録制で子どもをみてるシステムがあれば。
- ・学校のクラブが少ない（子供がいない）
- ・高齢者、赤ちゃん用うば車使用者

### コト

- ・防犯カメラの設置が少ない（津々山）
- ・図書館の書籍の充実を!!（金剛図書館）
- ・陸橋や住宅地のような壁に落書きがある（津々山）
- ・ゴミ箱がない
- ・高齢者が多いので、防災対策の不備が気になる（寺池台1丁目）
- ・町内会の謎のルール

### モノ

- ・公園で優先使用され自由に遊べない（津々山）
- ・道がこむ。渋滞。（狭富線）
- ・歩道が狭く歩行者が守られていないと感じる（自転車が怖い）
- ・市民プールが欲しい（金剛プール）
- ・道路がいたんでいる
- ・寺池公園が暗い
- ・レインボースタップ、中央で止まらず金剛まで来てほしい

●第1&2 圏域（グループ3）



近隣の方々との繋がりを感  
じられている方が少ないよう  
で、もっと仲良くなりたい、  
もう少し知り合いたいという  
意見がありました。

皆で支える自治会等の地域活動を継続してい  
くためにも、地域でのネットワークづくりの  
必要性が挙げられています。

●第3 圏域（グループ8）



古墳を整備してもっと活用  
したらどうかという意見や、  
銀座商店街の店舗数が減って  
いることへの懸念の声があり  
ました。

観光資源がない、交通の便が悪い、商業、産  
業共に目立ったものが無いといった意見もあ  
りました。

 ヒト

- ・長野線の駅前のにぎやかさ
- ・新堂幼稚園の子ども減少
- ・大阪大谷大学の周りが静か（もう少しお店とかあれば受験者が増えそう。にぎやかになりそう）
- ・浪速ちえこ
- ・名物キャラ、案内人

 コト

- ・たび旅、富田林の体験イベント
- ・石川ごみそうじ。あまり知られていない。
- ・市民大運動会！なくなったのさみしいなあ～
- ・石川鯉のぼり。5月、来年も存続希望
- ・楠公にちなんでの行事
- ・二軍戦でなく一軍戦

 モノ

- ・役所の建物構造…。使いにくい。トイレ、食堂。
- ・富田林駅の終電、河内長野まで延ばしてほしい
- ・小学校にエアコンつけてあげたいな
- ・石川サイクルロード外灯なし。さんぽにめっちゃいいのに！
- ・サイクリングロード、309から切れている
- ・富田林のおみやげがない
- ・B級グルメがない
- ・観光スポットがない

 場所

- ・寺内町燈籠。人が集まる日！寺内町を知る
- ・富田林の知名度がない
- ・都会からのアクセスが悪いし高い。
- ・寺内町をパッケージ化

 ヒト

- ・町内活動が少ない
- ・銀座商店街にもっと活気を
- ・魅力ある人材、お店が少ない

 コト

- ・商業・産業共に目立ったものはない。
- ・イベント情報等が分からない
- ・福祉施設の利用の仕方の情報発信
- ・治安が悪い

 モノ

- ・けあばるをもっと若者が使えるように
- ・商店街の店が減っている
- ・若者が使う施設が無い
- ・公園にトイレが無い（藤沢台公園）
- ・ジョギング、ウォーキングの人の為の更衣室がない
- ・観光資源が無い
- ・交通の便が悪い
- ・買い物、外食施設が少ない

 場所

- ・古墳の近くが整備されていない
- ・地域の魅力を知らない（古墳がある）
- ・町なみの統一感がない

● 第1&2 圏域 (グループ4)



防災の観点からは「子どもは学校で訓練しているが、大人も一緒に訓練したい」「中学生が避難誘導できるように教育」のように世代を越えた取組への意見があり、防犯の観点からは道の暗さの改善や、未成年の夜間外出抑制への意見がありました。

● 第3 圏域 (グループ9)



集合住宅が密集しているエリアでもあり、震災の時に安否確認ができるかという問題提起がありました。また、寺池台公園周辺の夜間の暗さや、交通ルール（スピード違反、自転車マナー）の徹底も安心して暮らすために必要だという声がありました。

 ヒト

- ・防犯上、公園の使用を市で決められないか？  
(例：未成年の子は10時以降帰るよう促す)
- ・通学に時間がかかる（防犯・熱中症）
- ・未成年には地域の声かけを。10時以降は町内の役員や有志ができるようにならないか？
- ・子ども会、青年会、老人会などの活用
- ・保護者間ネットワーク。連絡網に変わるもの。  
個人情報
- ・民生委員の年齢
- ・中学生が避難誘導できるように教育
- ・地域で非行を防ぐ体制づくり

 コト

- ・暗い。盗難（ドロボー）。ポリボックスなし。
- ・車・単車の暴走。ひったくり。盗難など
- ・小学校内での避難訓練はしているが、自宅で子どもがいるとき、どこに避難したらいいの？と聞かれる。喜志小だが、大人も皆で訓練したい。
- ・イノシシ出没（朝）
- ・避難所へのプロセス（避難の仕方）
- ・課題について、早急に対応できるものから随時対応が必要。（1年、3年、5年などで解決するように）

 モノ

- ・河川敷が怖い!!
- ・空家が多数放置されている
- ・細い道にひんぱんに車が通るので危険
- ・道がせまい。人が並んで歩いている（3人）
- ・避難所が遠い
- ・防犯灯→LEDで明るくなった

 ヒト

- ・藤沢台方面静かですが、一人歩きはちょっと不安？
- ・自転車のマナー（全域）
- ・近所付き合いが少ない
- ・高齢者宅は定期訪問をする手立てはないか
- ・集合住宅は、震災のとき安否確認できるか
- ・不審者。

 コト

- ・災害時、どこに行けばいいのかわからない
- ・スピード違反の取締用防犯パトロールを
- ・せまい道路でもスピードを出す車が多い
- ・交通量が多くなった（滝谷、金剛伏山）
- ・駅前、車の速度落としてほしい
- ・地域内に防犯カメラがない（津々山）
- ・滝谷駅前をバイクが音を立てて飛ばすのが怖い
- ・救急車にお世話になった時に病院が見つからず40分待機させられました。たまたまの特例ならいいのですが…現状はどうでしょうか

 モノ

- ・公園にトイレが無い（藤沢台公園）
- ・近くに交番が無い
- ・向陽台小から藤陽中の方に横断歩道がない。夜間は危険
- ・遊歩道に防犯灯が少ない
- ・団地にバリアフリーが無い
- ・歩道の植木が高くて、横断中の子どもが見えず危険
- ・寺池台公園の見通しが悪い

●第1&2 圏域（グループ5）



石川河川敷についての意見が多く出ました。「昔はホテルがいた」とか、「石川の保全が生態系を守ることに繋がる」といった意見がありました。

公園の掃除はみんなで行っているという意見もあり、これらの活動を持続させる仕組みが必要となりそうです。

 ヒト

- ・隣近所で声かけすればよいが、声かけにくい。つながりが希薄に？
- ・府営住宅の人が少なくなった、祭りもなくなった。（だんじりはあるが）

 コト

- ・ゴミ出しの曜日別の出しまちがい、早く出す人がいる（それがおとしよりだと言いつらい）
- ・公園のそうじはみんなで行っている
- ・商店街のシャッターにも描いてもらおう
- ・災害訓練やりすぎると慣れてしまってよくない
- ・石川の保全が重要（生態系を守る事にもなる）

 モノ

- ・「売物件」になっていてもなかなか売れない（60～70坪くらい）2つに分けるとせまい
- ・うめのさと→喜志への道路がガタガタ
- ・レインボーバスがない→通してほしい
- ・河川敷の「畑」は撤去させられた→その方がきれいだった
- ・金剛大橋の辺りにホテルもいた（昔いつごろ？）
- ・外灯が少ない
- ・空き家、空き部屋が増えている

 場所

- ・駅前にダイエーがあったころは街に明るさがあった→明るくなると学生もやってくる
- ・景観・美観が変わらない。対応がない（落書き）
- ・岸和田では同じところで大人の習い事と子どもの集うところができたらいい→多世代が交流できるとよい

●第3 圏域（グループ10）



道路（交通）に関する意見が全体の1/3くらいを占めました。道路の舗装や、道の暗さ、木の剪定の必要性が挙げられています。その他にも明治池公園の野良猫や、カラス、犬のフンのマナーなどの扱ひも課題となっています。

 ヒト

- ・地域防災組織に力不足を感じる

 コト

- ・歩きたばこ。たばこポイ捨て
- ・原付マナー（夜ブンブンうるさい、信号無視、二人乗り、ノーヘル）
- ・交通マナー（特に自転車）
- ・ごみの散乱
- ・粗大ゴミ収集業者問題（安心、安全）
- ・動物の毛を遊歩道の脇に捨ててある
- ・ゴミの日のカラス
- ・ノラ猫の増加、プラスチック分別
- ・明治池公園で猫にエサをあげている。釣りをしている人も釣った魚を与えている。増えて困る。散歩がしにくい公園になった。
- ・循環型社会に向けた取組が少ない
- ・陸橋や住宅のよう壁に落書きが多く、目障り
- ・遊歩道や緑道が活用されていない

 モノ

- ・手つかずの空き家
- ・太陽光パネルが少ない
- ・幼稚園の前だが横断歩道がない
- ・寺池台の近くの歩道橋の撤去
- ・亀甲→泉ヶ丘 自転車通行帯を作る
- ・電柱の地中化（景観が悪い）
- ・舗装の精度が悪い
- ・道が暗い（夜）
- ・道路が狭い（五軒家地区 通学路、避難路）
- ・スポーツホールが古い
- ・藤沢台公園にトイレがない
- ・店が少ない



## おわりに

第1回のワークショップでは、はじめましてという時間を取りました。戸惑う人が多いかなと思っていましたが、みなさん意外にスムーズにあいさつしてくださいました。震災後の東北でNPO活動をしていた時に強く感じたのですが、地域での活動の始まりは「あいさつ」です。地域にたくさん挨拶をしたりされたりする人がいるまちは、「あなたのみち」になっているはずです。ワークのとき以外でも、見かけたら目を見てあいさつしてみてください。

第2回のワークでは資源をたくさん出してもらいます。身の回りの「課題」は結構目につくものですが、それを解決する「資源」もよく見ると、近くに有ったりするものです。「**ここが素敵!**」「**この人がすごい!**」「**この場所はもっと使われても良いのでは?**」という視点でこれからもまちをどんどん開拓して行きましょう。



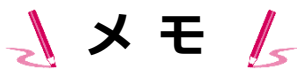
▲三菱 UFJ R&C 丸川  
(進行担当)

### 第1回のアンケートより（一部抜粋）

- ・全体に意見を言いやすいような環境を作ってくれたので言いやすかった。
- ・見通しをもって行動できるのでわかりやすかった。
- ・富田林に来たばかりでありあまりよくわからないのでいろんな人の話がきけて良かったです。
- ・参加されている方は関心を持っていると思うが、それ以外の方にも（発信するなど）興味を持ってもらえるといいと感じました。
- ・ファシリテーターの進行が、充実した会につながるので頑張してほしい。
- ・近くても知らない事がありよかったです。

### 第3回までに…

第3回まで1か月ほど間があくので、その間にグループで活動（宿題？）をしてもらいます。富田林のみちを歩いて、今まで班の中で出てきた資源や課題を実際に見に行ってみたり、地域の中で素敵な場所を見つけて写真に収めたりするのも良いでしょう。全員で集まることは難しいかもしれませんが、なるべくやり取りをしながら進めていってもらえると、残り2回のワークショップも楽しくなると思います。



## 次回のご案内 第3回 「資源と課題を結び付けよう」

第1回と第2回の意見をもとに、地域の課題を解決するための具体的な取り組みや、取組を実現するための方法について考えます。

日時：2017年10月29日（日）14:00～16:00（終了予定）

場所：富田林市消防署4階 講堂

第1回	第2回	第3回	第4回
9/10	9/24	10/29	11/5
終了	終了		



### お問合せ先

富田林市 市長公室 政策推進課

TEL：0721-25-1000（内線514）（平日9時～17時30分）／FAX：0721-20-0200

E-mail：plan@city.tondabayashi.lg.jp

Web：http://www.city.tondabayashi.osaka.jp/